

綾部市マスコットキャラクター「まゆピー」のテーマソング「まゆピーの歌」が、このほど市民有志により作られました。市ではこれを受け、今後イベントや施設で流したり、ダンスの振り付けをしたりして幅広く活用します。

「まゆピーの歌」

1番
いつでもちょよっとのんきな、人気者
明るい笑顔でご挨拶
まんまる頭から毛がはえた
つぶらな瞳はにっこにこ
ちょっぴり太めで
かけっこ苦手
それでもめげない！
元気がいっぱい！
歌おう！ 声を合わせて
綾部大好き！
まゆピーが好き！

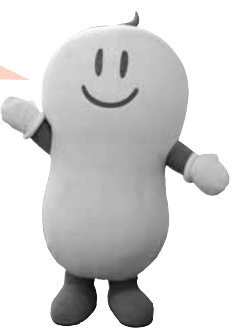
まゆピー みんなで歌ってね テーマソングできたよ

1番の歌詞を紹介するよ！

「まゆピーの歌」は、明るくハイテンポな楽曲。覚えやすく楽しい歌詞がつけられており、4番まであります。歌詞と曲は、市公式ホームページに掲載しています。

今年も出ます!! ゆるキャラグランプリ

まちおこしのために頑張っているキャラクターの人気投票として開催される「ゆるキャラグランプリ」(同実行委員会主催)に、今年もまゆピーがエントリーします。投票は9月2日～10月20日。グランプリの公式サイト (<http://www.yurugp.jp/>)で登録し投票できます。綾部市PRのため、皆さんも応援をお願いします。



就労をサポート

「きやりあサロン」オープン

相談、交流の場提供

働きたい人や、仕事の悩みを抱えている人、転職を考えている人などを支援する「きやりあサロン」が7月20日、西町二丁目にオープンしました。これまでからニートや引きこもりなどの若者を支援してきたNPO法人まごころ(藤大慶理事長)が運営。働くことに関する「なんでも相談」に応じるほか、すでに働いて

専門家が常駐

サロンには、キャリアカウンセラントやジョブコーチ、臨床心理士などが専門相談員として常駐。悩みの解決方法を一緒に考えます。
開設時間／午後4時～8時
休み／8月末まで無休。9月以降は毎週末・土曜日(予定)
場所／西町二丁目102
問い合わせ／NPO法人まごころ ☎(40)2556



仕事に関する悩みがある人の相談に親身に対応

分別の不徹底が危険を招く

守ってください！ ごみマナー



野田町の市クリーンセンターでは、燃やして処理するごみと一緒にスプレー缶などの金属類や危険物が捨てられ、機械が故障するなどのトラブルが発生しています。分別の不徹底は、作業員のけがにもつながります。正しい分別にご協力をお願いします。

混入した金属類で機械破損

市クリーンセンターでは、ごみ分別の不徹底により、機械の故障が増加。燃やして処理するごみでは、混入した金属類によって、ごみを細かくする機械の刃が破損したり消耗したりする事例が起きています。また、燃やさないで処理するごみにカセットボンベやスプレー缶が混ざっていると、収集車内で発火する恐れがあります。

分別の不徹底により、現場の作業員がけがをしたり、本

来に必要な修理に多額の出費を強いられたりすることになります。各家庭に配布している「守ろうごみマナー」を確認し、正しい分別をしてください。

ここにご注意！

燃やして処理するごみ
燃やさないで処理するごみ
・新聞紙やチラシで中身を覆ったり、透明でない袋に入れたりにして出さない。中身が確認できないので、危険なものや

有害なものが入っていてもわかりません。
・生ごみなどの水分は、十分に切って出す。収集車に積み込む際に袋が破れ、汁が周辺に飛散すると、悪臭のもとになるなど周辺の環境悪化の原因になります。
・家庭菜園用ポットや少しでも金属のついているものは、燃やさないで処理するごみで出す。
・割りばし、かまぼこ板は燃やして処理するごみ。40センチ未満の木片、竹は燃やさないで処理するごみ。大きいものは、破砕機で処理できません。
・カセットボンベ、スプレー缶は有害ごみ。収集車の火災の原因になるので、混ぜない

ご参加ください

環境美化クリーン大作戦

市環境市民会議では、平和と環境の日関連事業として「環境美化クリーン大作戦」を実施することとし、各地域に呼び掛けています。自治会で取り組まれる、環境美化清掃作業にご参加ください。

日時／9月7日(日)早朝1時間程度(開始時間は自治会により異なります)。場所／市内一円。内容／道路に捨てられた空き缶などのごみ拾い。詳しくは同会議事務局の市環境保全課 ☎(42)1489へ。



でください。
・1世帯が1回に出せるごみは5袋まで。1度に多く出されると収集ボックスに入らず、収集時間やルートに影響が出ることがあります。大量に出したいときは、クリーンセンターへ持ち込んでください。
資源ごみ・有害ごみ
・ペットボトルや缶、びん、白色トレイは、決まった専用コンテナに分別して入れる。違ったものが入っていると仕分けしなければならず、収集に時間がかかってしまいます。
・専用コンテナのふたが中に折り込まれていると、ペットボトルや白色トレイを積み込むときにこぼれることがあるため、ふたを外に出してから入れる。
・カセットボンベ、スプレー缶は、使い切ってから穴を開けて出す。火災の原因になります。
・蛍光管の長いものは小分けにして出す。大量に出されていると、事業所のごみと区別が付きません。1度に多く出すときは、クリーンセンターへ持ち込んでください。



口上林川まつりで大きなウナギを捕ったぞー

第19回口上林川まつりが7月20日、今年整備された上林清流の里公園で開催されました。会場では、丸太早切り大会や、今回初めて行われた、大きなボールに入って水上を歩く「ウォーターダッシュ体験」が好評。魚のつかみどりでは、多くの子どもらが歓声を上げながらウナギやアユを捕まえました。



君尾山で大ジャンボリー

第36回夏の大ジャンボリーが8月2、3日、睦寄町の君尾山キャンプ場で開催。市内の小学4～6年生96人が参加しました。

児童らは、ボランティアスタッフの助けを借りながら、協力し合いテント設営や火おこし、飯ごう炊さん、キャンプファイヤーなどを体験。水の大切さや火の扱い方を学び、大自然の中で仲間ときずなを深めました。

特産館に巨大ガンダム

青野町のあやべ特産館は7月20日～31日、海フェスタ京都の関連事業として「巨大段ボールアート展示会」を開催しました。高さ3mのガンダムなど段ボール製のロボット作品2体を展示。細かい部分まで丁寧に作りこまれており、期間中は一緒に写真を撮る人らでにぎわいました。



また、20日には親子アート教室も開かれ、大勢の子どもらが参加。目玉を押すと足が動くカニを段ボールで作りました。

何北中学校旧体育館お別れ会

物部町の何北中学校に今年4月、新体育館竣工。これに伴い、62年間生徒とともに歩んできた旧体育館のお別れ会が7月17日に開かれました。地域の人や卒業生も招き、在校生からのお別れの言葉の後、全員で校歌を歌ったり、昔の卒業アルバムを見たりして体育館の思い出に浸りました。

取り壊し作業は7月22日から行われ、跡地は駐車場と駐輪場になります。



感謝の思いを込めー 吉美分団 府消防操法大会に出場



第23回京都府消防操法大会が8月3日、京丹波町の丹波自然運動公園で行われ、綾部市代表として吉美分団（佐々木幸治分団長）が出場。「小型ポンプ操法の部」で訓練の成果を披露しました。

共に訓練を重ねてきた操法要員と指導に当たった消防職員



本当にたくさんの方からの声援、そして消防本部・団本部の方々のご指導をいただいたおかげで、無事に操法を終えることができました。携わってくださった方々すべてに感謝の言葉を伝えたいです。
(佐々木分団長)

大会に向けて選ばれた操法要員は、3月からトレーニングに取り組み、5月に操法訓練を開始。6月後半からは週3回の練習を行いました。当日は最終的に選ばれた▽指揮者・四方佑造▽1番員・梅原清彦▽2番員・野田健二▽3番員・松本純也▽補助員・大槻敏一（敬称略）の出場。訓練に携わった皆さんへの感謝の気持ちを胸に、機敏な動きで操作を行い訓練の成果を存分に発揮しました。ポンプ、ホースなどの扱いの速さ、正確さなどが審査された結果、敢闘賞。野田さんが2番員として優秀選手賞を受賞しました。

野田選手が優秀選手賞